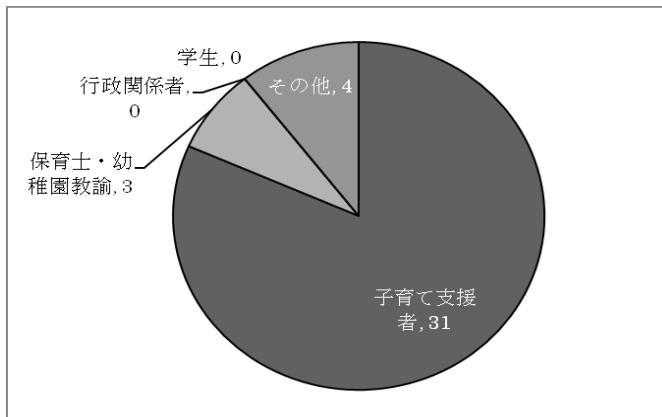


## 振返りアンケート集計結果

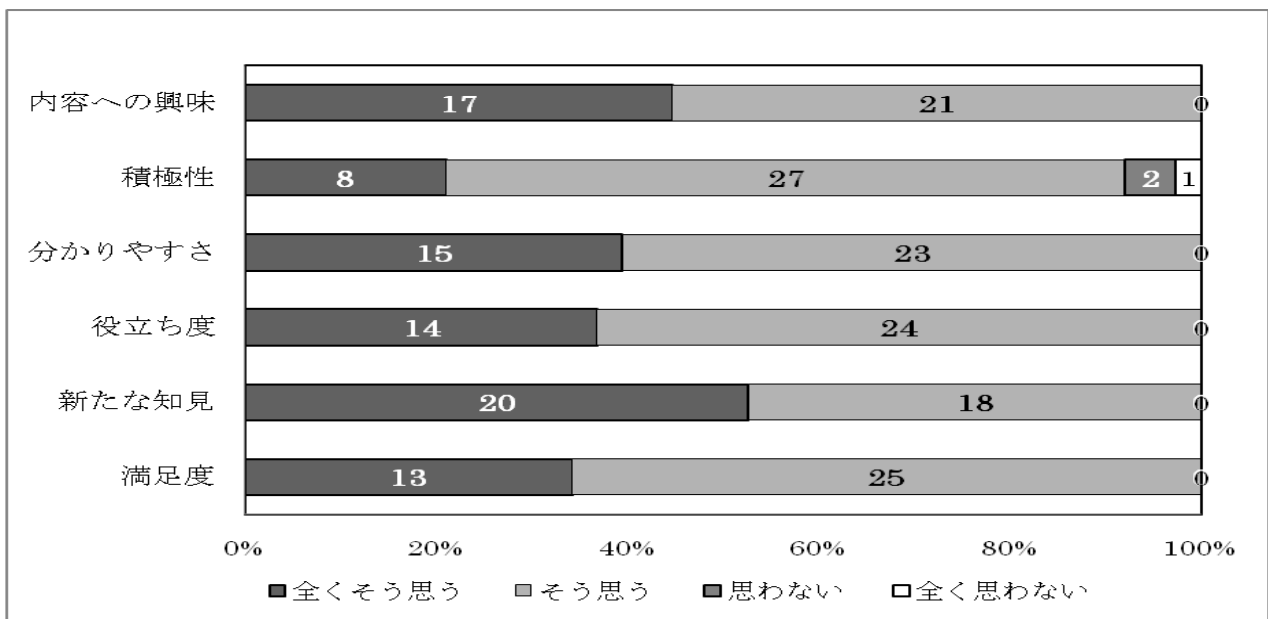
「地域でつながる子育て支援～三鷹市の実践をとおして～」講師 子育てコンビニ代表 小林七子 氏  
 シンポジウム 「地域でつながる子育て支援」  
 ちびっこはうす代表 宮沢由佳氏、Hope 笛吹代表 神宮司忍氏、大月市福祉課主査 清水みゆき氏

### Q1. 回答者の内訳（人）

〈アンケート提出者38名〉○受講生35名、一般参加者3名 ※一般参加者3名は、チラシを見て参加



### Q2～Q7の集計結果



### Q8印象に残ったこと、感想など

- ・宮沢さんのパワフルな姿、神宮司さんの仕事へ誇りを持つ姿が素晴らしいと思った。
- ・清水さんの実践の内容が濃く、メリーの会発足は大きな収穫だと思う。
- ・小林さんのボランティアからNPOを立ち上げ発展させた実践には感動した。
- ・行動を起こすことの大切さに気づき、そのエネルギーに感心した。(多数)
- ・まずは自分に出来ることからコツコツとやってゆこうと思う。(多数)
- ・4人の講師の一言ひとことに子育て支援への熱意を感じられ、パワーをたくさんいただいた。
- ・まず、一歩ずつ進む。一人で考えて困難だと思ったことも、仲間に話してつながり行動しようと思った。
- ・宮沢さんの「山梨県の資源は高齢者」の言葉から、高齢者も子どもも、ともに元気になる関わり合いをつくりたいと思った。
- ・行政の対応で、もどかしさを感じる時もあるが、「熱意が大事だ」とシンポジウムをとおして学んだ。
- ・4人の講師・シンポジストの皆さんの意識の高さ・意欲を見習いたい。

- ・「やってみる」という気持ちが重要だとわかった。わたしも一歩前に前進したい。(多数)
- ・いろいろな立場からの子育て支援のあり方を学ぶことができた。(多数)
- ・宮沢さん発表の乳幼児の母親達の『プチ稼ぎ』に興味を持った。子育てにはお金がかかるし、母親のリフレッシュも兼ね、より子育てが楽しくなるのではないかと思った。
- ・小林さんの話がとてもよかった。(ボランティアだけでは無理、資金稼ぎも大切など) 楽しい内容だった。
- ・多種多様な子育て支援の仕方・考え方があり、「難しいなあ」と感じた。めざすのは「子ども主体のサポート」であるが、あるべき姿はどういうものか奥が深くよくわからなくなった。それぞれの支援団体における活動の目標・支援方法を確認して自分らしい子育て支援をしたいと思った。
- ・三鷹市の実践に驚くばかりであった。「子育て中の母親達には、社会とのつながりを求めている方が多い」という新たな認識を持つことができた。
- ・宮沢さんのお話から県内にも意欲的な母親がいることがわかった。自分の周りには受け身の母親が多いと思っていたので、これから意欲を引き出していきたいと思った(2名)。
- ・子育て中の母親には、ネットでのつながりも多いとわかった。
- ・心に残ったこと
  - ・宮沢さんの言葉「子どもは宝」「子どものためにつなげる楽しい保育」「やってみる。できるよ。」「言ったことを実現する」
  - ・神宮司さんの言葉「預かってあげているのではなく、預からせていただいている。お金をいただいてして保育をさせていただいている。」
  - ・清水さんの話「出張親子遊び」は母親にはありがたいだろう。
- ・地域性の違いがわかった。東京では母親が積極的だが、山梨では様々なサービスも「無料だから参加！」という受け身な考えがまだ強いと感じた。山梨も三鷹のようにできたら最高だと思う。
- ・母親の思いに共感してサポートしている姿がすばらしい。自分が今やっていることは、「子育て支援」という名だけの「遊び場だけ」なのかと思った。小林さんの「子育て支援とビジネスはあまり相性がよくない」という言葉が心に残った。
- ・自分の仕事にすぐつながることではないが、子育て支援の上に立つ方のパワーと覚悟を感じた。
- ・宮沢さんの「組織とつながるのではなく、人とつながることが大切」という言葉に感動した。(2名)
- ・宮沢さんの「子育ては親育て」の言葉を聞いて「やっぱりそうなんだ!!」と共感した。
- ・市町村によって行政の姿勢が違うことがわかった。
- ・「地域でつながる」とは、地域で必要とされる子育て支援は何であるかを問い、その目的を達成するためにつながり合うことであり、これから大切にしていきたい視点である。
- ・子育て支援をビジネスで捉えることは心情として受け入れがたいが、システムを支えるためにはある意味当然であり、子育て支援＝何でもただ(サービス)が当然という傾向にも疑問を感じる。ある程度の負担があって、子育てに対して親としての自覚・責任が出てくるのではないかと思った。
- ・子育て支援をとっても大切に考える人が多く、心強いと思った。
- ・神宮司さんのお話で、保護者の立場に立った保育園経営について聞いたが、物的・人的設備の整備はどうなっているのか、また保護者の要求をどこまで受け入れるのかということが、発表の中ではまだよく分からなかった。保育者の立場として、責任を重く感じた。
- ・行政とNPOはとても違う。行政には限界があるのか。Hope 笛吹の話には「目から鱗」の部分もあり、ビジネスとしておもしろいと感じた。
- ・三鷹の子育て支援活動は、協力的体制で現場の声を聞き入れ、情報提供の組織化が進み支援される人にはうれしい組織だと思った。母親の持つ力を育てて生かす場がたくさんできて支援につながっていけるといいと思った。
- ・神宮司さんの言葉「園は小さい方がいい」について、人に関わる活動は基本的に小さい方がいいと共感した。目の行き届く子育て支援がいいと思う。(2名)
- ・現在子育て中で保育園に預ける立場として、神宮司さんの「子どもを預からせていただいている」という言葉が印象的だった。子どものことで心配事があったので、今日の話を書きいて園に相談してみようという気持ちになった。
- ・少し内容が難しかった。
- ・宮沢さんの言葉「まず歩き始めること。お金や行政は後からついてくる。」が印象的だった。